

主管来電処理要領

追配

アジア局北東アジア課

極秘	秘	取扱注意	平
電話番号	平成 7 年 8 月 9 日付 (韓・釜・米・) 第 2508 号		
件名	対日論調 (広島原爆投下50周年)		
課長	別途配布	首席	担当官 志水さん
省内追加配布	総秘 () 官秘 () 副官秘 () 外政審 () 大秘 () 次官 () 外審 () 官房長 () アジア局長 () 審議官 () 参事官 ()		担当処理方針 総統 (1) 下地政 (1)
各省庁配布先		局 課	配布月日
	大蔵		
	通産		
	農林		
	水産		
	経企		
	運輸		
	法務		
	防衛		
	雲 崇 厚 生		
	カヒ (1)	外政審 (1)	(5)
乾電	乾電先	韓国・釜山・米国・ ()	
乾報	乾報先	韓国・釜山・米国・ ()	

注意 1. 電報の取扱いは慎重に願います。
2. 電報についての照会は検閲班（内線2171、2174）に連絡願います。

電信写

08-013

大 政事外外儀官
人 務 典 房
次 次
巨 秘 官 官 密 密 長 長

政 北 経 環 査 核 外
代 予 人 人 察 密 外
表 大 使 使 大 参 長

総 儀 対 会 要 厚 情 研
察 人 同 在 歴 史 オ 図

外 報 官 審 報 監 内 外 報
官 審 報 監 内 外 報

文 長 密 二

領 移 長 参 政 保 対 旅 外

長 審 総 安 平
企 国

審 審 軍 不 原 科

国 長 参 行 専 人 難 地

ア 審 地 中 東
参 監 東 西

長 審 二 保

南 長 密 二

長 参 西 口 東
西 新 洋
二 類

近 了 長 審 二 ア ア
二 二

経 密 総 滿 国 密
長 審 経 工 国 級
一 永 一 準
怪 途 一

参 海 審 準

経 協 長 審 政 調 国 開 無
長 参 緊 評 技 有 理

条 長 審 参 条 協 規

情 長 密 国 外 析 調 セ
二 二

総 番 号 R167484

主 管

月 9日

韓 国 発

電 北

平成 7年 8月 9日

本 省 着

外 務 大 臣 殿

山 下 大 使

対 日 論 調 (広島原爆投下50しゅう年)

第 2508号 至 急

(以下FAX送信 SO8697-01)

SO: 8697 - /

8日付け朝鮮日報は、一面のコラム「万物相」（本邦朝日新聞の「天声人語」に相当）において、広島原爆投下50周年に関連し、日本人は原爆投下に至った原因を等閑視し、原爆の被害のみを強調しすぎ偽善的であると批判しているところ、内容次のとおり。（関連記事別FAX備）

1. 掲載紙：8日付 朝鮮日報 1面”コラム「万物相」

内 容：太平洋戦争当時、シンガポールを占領した日本軍は、その地名を「南の光」という意味の「昭南」に変えてしまった。

第25軍司令官の山下奉文は、当時東南アジアで最も悪名の高い人物として「マレーシアの虎」と呼ばれた。

数年前、シンガポールでは彼を素材にした演劇が公演され盛況を呈した。ある日本将校が酔っ払って現れ、夜の静寂を破るような大声で白人の行跡を罵倒する。

「昭南の市民よ。マレーシアの虎は君たちに自由を与えた。我々は大東亜共栄圏の中で団結し、我が民族のためにより良い世界を築いて行かなければならない。」

彼の強弁は続く。「イギリスとアメリカは極東を永遠の奴隷・植民地として搾取しようとし、アジア民族の結束を何よりも恐れている。この機会を逃さず暴虐な白人の首を切ってしまう」。客席ではどっと嘲笑めいた笑いがわき上がった。

輝く平和（昭和）という年号の時代に日本軍の「解放」下で呻いていたアジア各国の国民の記憶はこのように苦しいものである。そのような歴史を共有した我々としては、広島原爆投下50周年を迎える日本人たちの行事が石灰を塗った「仮面舞踏会」のように偽善的に見える。戦争挑発者・加害者の「日本」は隠され、何と「世界に向けての平和の伝道師」だとは。

ある日本の知識人は皇居や京都を爆撃しなかった米国を文化国とほめたたえた。日本は「広島」だけを取り上げてはならない。平和国家としての入場券を得ようとするなら、侵略者としての過去もあわせて論じるべきである。

（了）